

金曜

ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



居酒屋の壁に「春夏秋冬二升五合」と書いてありました。

「春夏秋冬」は秋がないので「商い」、「二升」は升と升で「ますます」、「五合」は一升の半分、半升で「繁盛」。つまり「商いますます繁盛」と読みます。「判じ物」と言うのですが、言葉遊びとしてはオヤジギャグよりは少しばかり高尚のような気がします。

この「春夏秋冬」を見て、小学校の休みを思い出しました。長期の休みは「春休み」「夏休み」ときて、「秋休み」がなく、次に「冬休み」となります。こちらも「あきない」です。「飽きずに勉強しろ」ということなのかも知れませんが、その間が随分長く感じますが、クリスマス、お正月など楽しみも多いので、何とか乗り切れるのでしよう。

つい先日、北海道の小学校の長い冬休みもようやく終わりました。私は大阪育ちなので、冬休みは年末の22日ごろに始まり1月8日ごろまででしたが、札幌では始まりはほぼ同じで、始業式は1月18日ごろ。随分長く感じます。冬は寒さも厳しく、吹雪で休校もあり、暖房費も高額なので、冬休みを長くしている

ようです。もちろんその分夏休みが短くなるので、年間の休みはほぼ同じ日数です。

万全な防寒対策で着膨れした子どもたちが雪の中を歩く時期です。「あの子らはキチンと宿題を終わらせたかな」などと考えながら車を運転している、道路脇の雪の山の隙間から子どもたちが飛び出してくることもあり、最大限の注意が必要です。

はるか昔のことですが、テレビを見ている子どもに「宿題は済んだのか？」と声をかけると、「今やろうと思ってた」との返事。怒りたくなることもありすが、何とか褒

めながら育てたいなと思ったものでした。

同じことがシニアにも起ります。定年退職し家に居ることが多くなったおっちゃん、居場所がなく、片づけをしてもあるべき所にものを納めることができず、あまり褒められませんが、せいぜいゴミ出し、茶わん洗い、電球交換、そして除雪が俺の役目だ……と活路を見だし、手を出します。

喜ばれようと色々考えながら頑張っているつもりですが、動き出す前に「茶わんぐらい洗ってよ」と言われると、「今やろうと思ってた」と気持ちが悪くなることもあります。世の奥様方、どうか褒めてやってください。「ありがとう」とねぎわりかけてください。おっちゃんも子どもと同じで、おだてれば木に登りま